

入場無料

令和5年度 みんなで考えよう「平和と人権」  
平和セミナー

# 占領下の大阪・関西

## ～焼け跡から復興まで

### <概要>

毎日新聞大阪本社の保存庫に眠る膨大な資料の中から、GHQ統治下、占領期特有の希少な写真を発掘し、テーマ別に編んだ写真集『写真図説 占領下の大阪・関西』を昨年6月に刊行した。

進駐軍の上陸、米兵の駐留、各施設の接收から解除、占領下の生活、主権回復を祝う人々の姿など、当時の出来事や世相を記者やカメラマンがどう切り取ったのか。約400点の報道写真で、占領下の時代を再構成したものだ。

太平洋戦争では、阪神間も何度も空襲を受けた。なかでも昭和20年8月6日の阪神大空襲では、芦屋や西宮の市街地も焼夷弾で焼き払われた。敗戦を経て、復興への歩みが始まる。報道写真から見た占領下の街と暮らしを、大阪の事例を中心に紹介する。



### 第一部 講演

### 第二部 対談

橋爪紳也 × 阿部浩之  
(毎日新聞鳥取支局長)

今回の講演会では、滅多に聴くことができない占領期の写真に関する解説や、写真選定の過程をはじめとした写真集制作の裏話などもお話いただきます。



### 橋爪紳也

大阪公立大学研究推進機構特別教授

1960年、大阪市中央区生まれ。大阪府特別顧問、大阪市特別顧問。大阪公立大学研究推進機構特別教授。大阪公立大学観光産業戦略研究所長。京都大学工学部建築学科卒、同大学院、大阪大学大学院博士課程修了。建築史・都市文化論専攻。工学博士。

『1970年大阪万博の時代を歩く』『大大阪モダニズム遊覧』『大阪の教科書』ほか著書は100冊以上。日本観光研究会賞、日本建築学会賞、日本都市計画学会石川賞など受賞多数。

【写真ギャラリー】写真集から厳選した約20点を7月19日正午から28日15時まで公民館ギャラリーで展示いたします

日時 7月22日(土) 14:00~15:30  
会場 芦屋市民センター本館 401室

定員 先着100名(申込不要)  
受講料 無料

共催 芦屋市教育委員会・芦屋市立公民館 毎日新聞大阪本社  
後援 大阪公立大学観光産業戦略研究所

【お問合せ】〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市民センター 芦屋市立公民館 ☎0797-35-0700